



卒業生の活躍

星槎卒業生デジェン選手、鹿児島島の地で躍進！



「鹿児島マラソン 2025」で見事 2 連覇！

勝を果たし、今年はディフェンディングチャンピオンとして出場。2 時間 15 分 9 秒の記録で見事優勝しました。2 連覇という素晴らしい結果を残したデジェン選手ですが、インタビューでは「この結果に特に満足していない。さらに世界を目指したい」と決意を語りました。

エリトリアから世界こども財団のスポーツ奨学生として星槎国際高等学校、星槎大学を卒業したデジェン・テスファレム・ウェルドゥ選手は、鹿児島の地で躍進を続けています。

まずは、「第 72 回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」。2025 年 2 月 15 日～ 19 日に開催されたこの大会に、デジェン選手は川辺地区・(有) 南薩東京社の所属選手として出場しました。初日 1 区、3 日目 3 区、最終日 10 区と合計 3 区間にわたり素晴らしい走りを見せ、特に初日 1 区では各地区のエースが揃う激戦の中、見事区間新記録で区間賞を獲得しました。

そして 2 週間後の 3 月 2 日に開催された「鹿児島マラソン 2025」では 2 連覇を成し遂げました！昨年初めてのマラソンで初優



鹿児島の「県下一周駅伝」では区間賞！



星槎の卒業生ピニウムさんも応援に駆けつけてくれました



表彰式の様子



お祝いの花束の前で

歴史ある県下一周駅伝、そして鹿児島マラソンで立派な成績を残したデジェン選手は、また一つ世界こども財団や星槎の仲間にも元気と笑顔を届けてくれました。

鹿児島駅伝の大会後には、デジェン選手が働く(有) 南薩東京社を訪問させていただきました。日々の仕事をしっかりやり遂げているデジェンさんを見ることができ、また、会社や地元の皆様に愛され、謙虚に仕事や陸上に取り組むデジェンさんを見てると、とても心が温まりました。これからもたくさんの人に愛され、活躍できるよう応援をしていきたいと思います。



留学生活動報告

アルマムさん、日本語能力試験N4に合格しました！

マリ共和国からの留学生、アルマムさん（星槎国際高等学校湘南・男子バスケットボール専攻）は、2023年5月に来日し、早くも3年目を迎えようとしています。

2年生となった2024年度は、日本語能力の実力を試すため、7月に日本語能力試験N5を受験し、見事合格しました。さらに、12月にはN4に挑戦し、こちらも見事に合格。試験に向けては日本語の授業だけでなく、寮生活でもバスケットボールの練習後に遅くまで勉強を続けるなど、その努力が実を結びました。

また、勉強やバスケットボールだけでなく、課外活動にも積極的に参加しました。1月には在籍する星槎国際高等学校のスキー実習に参加し、持ち前の運動神経を活かして短期間で上達しました。

2025年4月からいよいよ最終学年です。3年生での目標は、バスケットボール部の仲間と共に全国大会へ出場すること、そして日本語能力試験N3に挑戦し、日本語の理解をさらに深めることです。

世界こども財団も、アルマムさんの挑戦を全力でサポートしていきます。



生まれて初めて雪を見ました



N4 受験結果を手に。バスケ部小村コーチと



バスケの試合でも活躍しています



国内での活動

相馬サッカー交流「星槎奥寺カップ」を開催しました

星槎グループと世界こども財団は、東日本大震災行以降、福島県を中心に、こどもたちを元気にするため、支援・交流活動を続けています。その一環として、2025年1月11日に恒例の「星槎奥寺カップ」を開催しました。

本大会は相馬市サッカー協会、NPO 法人ドリームサッカー相馬、学校法人国際学園と協働で実施しました。福島県相馬市の光陽サッカー場で実施し、相馬市・南相馬市からU-10（10歳以下）の8チーム、93名が参加しました。

この日、東北地方では大雪の予報が出ていたものの、当日は晴天に恵まれ、絶好のサッカー日和となりました。試合は2ブロックに分かれたリーグ戦と決定戦を行い、決勝ではFC原一が相馬SC Jr.に2対0で勝利し、優勝しました。MVP選手とグリーン賞には表彰状と記念品が授与されました。

14年目を迎えた本大会は、こどもたちや関係者からも好評で、「来年も楽しみにしています」との声が多く寄せられました。今後も地域の皆さまとともに、こうした交流活動を継続していきます。



一生懸命ボールを追う選手たち



優勝したFC原一の選手たち



ブータン支援活動

「山岳歯科医」テンジン・ドルジ医師、東京マラソンを完走！

ブータンで「Project Mountain Dentist」(以下、PMD)を立ち上げ、山岳地帯の人々に歯科医療を届けるテンジン・ドルジ医師が、世界こども財団の支援を受け、東京マラソン 2025 をチャリティランナーとして完走しました。これまでベルリンやロンドンマラソンにも参加しており、今回の挑戦では、東京マラソンを通じて能登半島地震の被災地への寄付も行いました。

テンジン医師の来日は、単なるマラソン参加だけではなく、「働きながらも、アマチュアでも挑戦できることを学び、それをブータンで広めたい」という目的がありました。また、日本での経験を通じ、ランニングによる健康維持の重要性や、歯科健康教育の普及について学び、帰国後に実践したいという意欲を高めました。

テンジン医師は、政府歯科医としての職を辞し、最新の携帯用機器を用いて歯科医療が届かない地域へ治療を行う PMD を創設しました。特に、歯科クリニックが遠い地域や、身体障害を持つ人々、宗教的理由で外出が制限されるツァム(僧侶や尼僧)への診療に力を注いでいます。また、口腔衛生教育の普及にも積極的に取り組んでいます。

「走ることを通じて、支援の輪を広げたい」と考えるテンジン医師は、ブータン国内外の協力者とともに PMD の活動を続けています。東京マラソンで 42.195km を走り抜き、「マラソンは、私に忍耐と挑戦の大切さを教えてくれる。山岳地帯での歯科医療活動と共通する部分が多いです」と語りました。また、東京マラソン 2025 チャリティを通じて能登半島地震の被災地へ寄付を行い、「世界こども財団と星槎グループの協力で来日が叶いました。ブータンは、日本の皆さんから多くの支援を受けています。私にできることはわずかですが、少しでも恩返しをしたいと思います。被災された方々が一日も早く元の生活に戻れることを願っています」とコメントしました。



声援に応えるテンジン選手



見事完走しました！



ブータン人として初出場



星槎国際高校湘南陸上部と合同練習

今後は、「日本での経験を活かし、ブータンでも働きながらスポーツに挑戦しやすい環境をつくりたい」と語りました。帰国後は BOC の協力のもと、ブータンのこどもたちに「歯科衛生 & ランニングクリニック」の開催を目指し、こどもたちに歯の健康と運動の重要性を広めていく予定です。



ブータンレポート

ブータン、冬季アジア大会に初出場！



ブータンオリンピック委員会 (BOC) は、2025 年 2 月 7 日から 14 日に中国・ハルビンで開催された第 9 回冬季アジア大会に初出場し、アルペンスキー回転種目チェンチョ・ドルジ選手を派遣しました。ドルジ選手はティンブー出身で、フランス在住。スキーインストラクターとして、ブータンの冬季スポーツの発展に貢献することを目指しています。ブータンのウィンタースポーツのパイオニアとして、2026 年のミラノ・コルティナオリンピック出場を目指しています。

世界こども財団活動報告会

2024年度世界こども財団活動報告会開催



土屋理事長挨拶

皆様のご支援に支えられ、世界こども財団は設立から今年で15年目を迎えることができました。

毎年、世界こども財団では活動報告に加え、日頃の感謝の気持ちを直接お伝えする場として、法人会員や協力企業の皆様をお招きし、活動報告会を開催しています。2024年度は、2024年12月6日(金)に箱根の湯本富士屋ホテルにて、約50名の皆様にご出席いただきました。

報告会では、土屋恵三郎理事長からの挨拶に続き、「ウガンダに橋をかけようプロジェクト」をはじめ、今年度の主な活動についてご報告しました。また、星槎国際高校湘南男子バスケットボール専攻に在籍するマリ共和国からの留学生アルナムさんや、同校卒業

後に武蔵野学院大学に進学し、陸上部で活躍するエリトリア出身の留学生ビニウムさんも参加して下さり支援への感謝の気持ちを伝えてくれました。

この活動報告会は、一年の成果を振り返り、次年度に向けての意気込みを新たに作る貴重な機会となりました。今後もより多くの方々に私たちの活動を知っていただけるよう、引き続き活動してまいります。



約50名の皆様にご出席いただきました

世界のこどもたちの未来づくりのために ご支援をよろしくお願いいたします

事務局より

世界こども財団では、私たちと一緒に世界のこどもたちに手を差し伸べる「仲間」を募っております。昨年度は441名の個人会員、90社・団体の法人会員・協力企業のみなさまに支えられ、活動を行ってまいりました。

こどもたちの未来をつくる活動に、ぜひご参加ください。

● 賛助会員

個人会員 年会費 6,000円 / 一口

法人会員 年会費 120,000円 / 一口

● ご寄付

金額を問わず、随時受け付けております。

● 寄付型自動販売機設置のお願い

現在、世界こども財団では各飲料メーカーと提携し、「寄付型自動販売機」を積極的に展開しています。購入頂いた飲み物の売上げの一部が当財団に寄付される仕組みとなっており、こどもたちの未来へと繋がっています。

自動販売機の設置費用や管理運営等はございません。少しでも興味のある方、設置しても良いという方、是非ともご連絡をお待ちしております。

詳しくは、世界こども財団のホームページ、またはお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。



2025年4月発行

公益財団法人
世界こども財団

〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷1805-2 (星槎グループ内)
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界こども財団」で検索!
制作: 岡村直実 (JC ユニット)

